

## 肉量と肉質ともに優れた全国トップクラスの寿恵福後継種雄牛 「平福安（ひらふくやす）」誕生！



「平福安」のプロフィール  
平成20年6月6日生  
産地：由布市  
登録番号：黒原5276  
登録点数：83.5  
血統：寿恵福－安平－糸晴

### 【研究のポイント】

畜産研究部では、肉用牛生産者（繁殖及び肥育）の子牛の市場性向上や、肥育牛の枝肉性向上による経営の安定を図るため、系統（糸桜系・気高系・但馬系）の異なる種雄牛を造成しています。

また、種雄牛から生産される凍結精液を県内の繁殖農家に供給し、「おおいた豊後牛」の生産性の向上に向けた研究も行っています。

この度、大分県の名牛である糸桜系種雄牛「糸福」を父に持つ「寿恵福」の待望の後継種雄牛となる「平福安」が誕生しました。

「平福安」は現場後代検定試験において枝肉重量、ロース芯面積、脂肪交雑（BMS：霜降りの度合い）で歴代トップクラスの成績を記録した、三拍子揃った糸桜系種雄牛です。特に枝肉重量が大きいことや、脂肪交雑に優れていることから、肥育農家や卸売業者から注目を集めています。

「平福安」は県内に多く飼養されている気高系の繁殖雌牛との相性が良好なことから、同系統への交配を推奨しています。

今後、「おおいた豊後牛」の生産拡大に寄与することが期待されます。

### 【研究の成果】

#### 「平福安」産子の現場後代検定成績

検定期間 平成24年2月20日～平成26年1月21日

検定頭数 去勢9頭・雌6頭 計15頭

調査形質	去勢	雌	平均	県平均
・枝肉重量(kg)	506.6	439.9	<b>479.9</b>	445.2
・ロース芯面積 (cm <sup>2</sup> )	63.6	57.7	<b>61.2</b>	53.5
・バラ厚 (cm)	7.7	7.6	<b>7.7</b>	7.4
・皮下脂肪厚(cm)	3.5	3.2	<b>3.4</b>	3.1
・脂肪交雑 (BMS No)	7.9	6.5	<b>7.3</b>	5.1

#### 枝肉価格による肥育生産者の販売額増加（目安）

県平均 1,757円×445.2kg＝782,216円／頭

「平福安」産子 1,858円×479.9kg＝891,654円／頭

差額109,438円が1頭当たりの販売増加額

\*注：(株)東京食肉市場、(株)大阪市食肉市場のA-4等級の去勢平均価格

【生産者の声】



由布市肉用牛育種改良組合  
組合長 佐藤 幸市氏

「寿恵福」は第8回全国和牛能力共進会肉牛の部でグランドチャンピオン（内閣総理大臣賞）を受賞した名牛で、脂肪交雑などで肥育農家から高い評価を得ているが、その「寿恵福」も平成9年生まれとあって、早く「寿恵福」の後継種雄牛の誕生を望んでいました。

今回、「平福安」が現場後代検定でBMS 歴代トップ、枝肉重量歴代2位の成績を収めたことは、「寿恵福」以上に産肉性の向上に期待が持てます。

また、気高系の繁殖雌牛が多い県内の肉用牛農家にとっては交配し易い系統の種雄牛であることから、大いに活用していきたい。

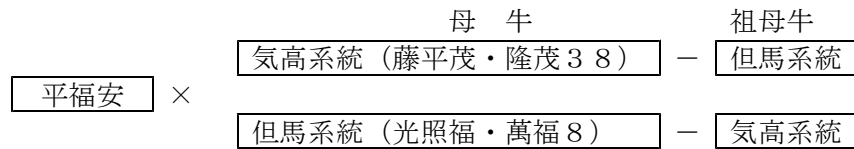
【参 考】

■枝肉切開面写真



歩留等級：A  
脂肪交雑：5等級  
BMS No.：12  
ロース芯面積：84cm<sup>2</sup>

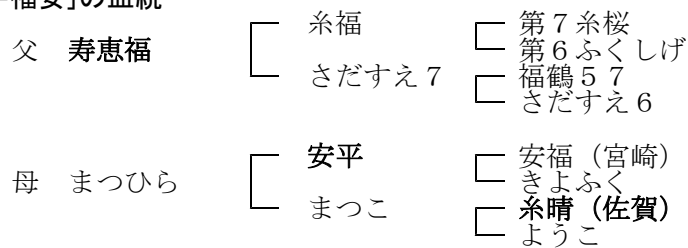
■「平福安」を利用した交配方法



■現場後代検定とは

現場後代検定は1頭の種雄牛候補につき、その産子15頭以上を肥育し、その枝肉成績（枝肉重量、ロース芯面積、脂肪交雑など）をもとに、父親である種雄牛候補の遺伝的な能力を判定する検定法です。

■「平福安」の血統



【連絡先】

担当：農林水産研究指導センター畜産研究部 種雄牛チーム  
TEL：0974-76-1317  
住所：竹田市久住町大字久住3989-1